

タイ損害保険会社（「ウィルソン社」）への出資について

2004年11月1日

あいおい損害保険株式会社（社長 児玉 正之）は、アジア戦略の本拠地であるタイにおいて、ウィルソン損害保険会社（以下「ウィルソン社」）の発行済み株式の19%にあたる28,500株を10月1日付で購入しました。当社の出資額は4,500万バーツ（約1.2億円）となります。

1. 出資の背景

当社は永年にわたりタイにおける提携先であるバンコク保険会社との取引を進めてきましたが、今般バンコク保険会社のチャイ・ソフォンパニチ会長が個人で所有するウィルソン社の株式の一部を購入したものです。

「バンコク保険会社」とは、バンコク銀行グループの中核をなす損害保険会社であり、ウィルソン社も同グループの一社です。

2. 今後の展開策

当社のアジア戦略はタイを中心として展開しており、本年6月に執行役員が常駐しています。このたび筆頭株主となりましたウィルソン社については、現地法制に則った手続きを経て2005年1月を目処に、社名をバンコクあいおい損害保険株式会社（以下「バンコクあいおい社」）とし、役員・顧問の派遣を予定しております。

バンコクあいおい社は、

トヨタ自動車ユーザー向専用自動車保険の販売

タイに進出される日系企業への各種損害保険の販売・保険サービスの提供を事業の中心とし、2008年度には元受保険料40億円を目指します。

バンコク保険会社との提携関係はこれまでと変更ありません。

<ご参考> ウィルソン社の概要

（1）歴史

1951年7月にバンコク銀行創始者であるチン・ソフォンパニチ氏（バンコク保険会社のチャイ・ソフォンパニチ会長の実父）が中心となり設立、海上保険を中心に事業をスタート

（2）業容

2003年度元受保険料1億8,400万バーツ（約5億円） 従業員63名

（3）資本金および総資産

資本金1,500万バーツ（約4,200万円）

総資産4億3,300万バーツ（約9億4,000万円）

以上